

保健医療サービス論	4年・後期	1単位	非常勤講師 一戸 真子
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32320514

1. 授業のねらい・概要

看護師は病院全体を最も理解している医療従事者であり、各部門や機能において重要な役割を果たしていることについて講義する。また、看護師をはじめとする保健医療従事者による患者へのケアは、ヘルスケアシステムの中で提供されるサービスであり、さらに病院は実際に経営していかなければならないことについても理解を深められるよう講義する。保健医療サービスの特徴の理解と他のサービスとの違いについても理解を深めながら、保健医療サービスの質の向上にはどのような視点が重要であるかについても講義する。保健医療サービスは世界中の人々が求めているサービスであり、グローバルな視点からみた保健医療サービスの標準化や質について理解を深め、グローバルスタンダードに基づく看護師の役割や倫理についても理解を深められるよう講義する。

2. 学修の到達目標

1. 保健医療サービスの特徴を理解し、病院経営の実際が理解できる。
2. 病院における看護師の具体的な業務と役割が理解できる。
3. 医療費を支払うヘルスケア・コンシューマーとしての患者や家族について理解できる。
4. 生活者としての看護師、労働者としての看護師と保健医療サービスとの関係について理解できる。
4. 国によって保健医療サービス提供に対する考え方に違いがあることについて理解し、グローバルな視点からの看護師の役割と特徴について理解を深める。

3. 授業の進め方

できるだけ総合的に思考し、自己の職業倫理観の形成の機会を多く提供したいので、課題の提示を行いながら、ディスカッションを取り入れた参加型の授業としたい。また、グローバルな視点から比較をすることにより、サービスの質についての見地が広がるので、国際的な視点から授業を展開したい。

4. 授業計画（講義）

1. 保健医療サービスの特徴—他のサービスとの違い
2. 病院発展の歴史と医療経営
3. ヘルスケアサービス・コンシューマーとしての患者とその家族
4. 労働者としての看護師、医療従事者の働き方改革
5. ビジネスとしての保健医療サービスの質
6. 医療関連サービス、医療材料、医療機器、医薬品
7. 院内における看護師の役割と業務内容
8. グローバルな視点からみた保健医療サービスと看護

5. 成績評価の方法・基準

積極的なディスカッションへの参加 40%、レポートを含む最終試験 60%。

6. テキスト・参考文献

テキスト：一戸真子『グローバル・ヘルス・ビジネス』日本経済評論社。
参考書：一戸真子編『国際看護』学研メディカル秀潤社。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

授業ごとに事前予習課題の提示および振り返り課題の提示を行うので、予習・復習を行って欲しい。これらの予習・復習の時間には2時間以上必要とする。

8. 受講上の留意事項

患者は世界中にあり、また看護師も世界中にいるという前提で、保健医療サービスをグローバルに捉えることの重要性について認識して欲しい。また、患者を癒し、助ける場としての病院であるが、資本主義経済社会のもとでは、収入と支出を考え、実際に経営していかなければならず、また看護師自身も労働者として給与や労働条件、自身のQOLについて考えなければならないことについて、是非卒業前に考えておいて欲しい。

9. 課題に対するフィードバックの方法

レポート実施内容については、提出後に解答などを説明する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目である。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

該当する。本授業は、病院評価における実務経験を活かして指導する。